

平成28年度
優秀賞

株式会社南日本新聞社

会社概要

株式会社南日本新聞社は鹿児島新聞社として発足し、昭和21年2月に現在の名称となった。業務内容は新聞発行。鹿児島市与次郎に本社を置き、東京・大阪・福岡・宮崎など24支社総局支局の取材拠点を持つ。従業員は、非正規社員を含み410名前後となっている。

削減実績

CO2 排出量削減率 28.1%達成（平成22年度比）

※電力排出係数の悪化の影響に配慮し、電力排出係数を基準年度（平成22年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成23年度～平成27年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

全社的な削減取組の実施

役員をトップに社内環境対策委員会を年2回実施し、社員への照明・空調の適正な運用、クールビズ・ウォームビズの実施で省エネへの啓発を行っている。

本社の防災センターには委託する株式会社南日本総合サービスの職員が常駐し、設備の保守や空調管理を行っている。機器運用の見直しを行う等、連携してCO2排出の削減活動を行っている。

空調の省エネ

以前は冷温水機両方で全館の室温を調整していたが、現在は夏場の温水を停止するなど、通年で緻密な運用管理を行い、エネルギーの削減を図っている。

また、本社2階以上の窓には、遮熱フィルムを貼付し、空調の効率化につなげている。

照明の省エネ

点灯時間の長い執務室や誘導灯を優先的にLED照明に更新している。誘導灯は、平成25～28年度までに185灯を交換、その他も全体として約50%の交換が完了している。

また、トイレ等の人感センサー設置を進めるとともに、使用していない会議室、打合せスペースの消灯など徹底した取組を行っている。

補助金を活用した省エネ設備の導入

平成27年度に国の補助金を活用して、従来利用していた氷蓄熱設備を廃止、インバータ制御のターボ冷凍機を導入した。併せてボイラー、コンプレッサーなども高効率機に更新し、約55%の消費電力を節減するとともに、エネルギーの削減につなげている。

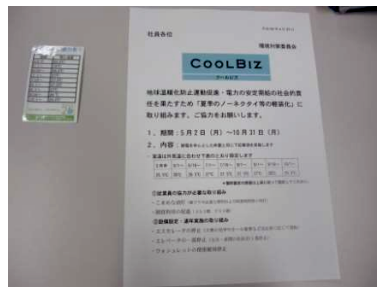
今後は、冷熱源設備・ポンプ等の高効率機器の計画的な更新や照明のLED化、人感センサーの取付けの推進を図っていく予定である。



照明の省エネ
(誘導灯のLED化)



ターボ冷凍機の導入
(平成27年度経産省補助金)



社員への省エネの啓発